

グループワーク	事前課題	特別な持ち物
×	×	電卓

財務基礎〔財務 3 表〕

～財務 3 表理解から決算書を読み解く力を身につけよう～

講座時間/受講料
10:00～16:30（1 日間）／会員 1 名：21,450 円（税込）、一般 1 名：42,900 円（税込）

講師名
TOMA コンサルタンツグループ コンサル部 執行役員 経営コンサルタント 井関 臣一朗 氏

対象
経営者、経営に直接かかわる方、経理担当・財務担当の方など

ねらい
初めて財務を学ぶ方に向けた超入門編です。財務知識ゼロの方でも財務分析ができるように、最初に財務 3 表の構成、つながりを理解し、さらに「財務分析」の演習を行いながら、決算書を読み解く力を身につける講座です。財務の基礎知識を習得することで、定量的にビジネス構造を理解し、改善の着眼点を得ることを目的にしています。 これまで数値が並んでいるだけだった「決算書」を「財務 3 表」に置き換え、①儲けの構造はどうなっているのか？②お金はどのように流れているのか？③改善の切り口はどこにあるのか？これらが「決算書」から分かるのかを体感して頂けます。決算書は様々な情報を読み取れる宝の山でもあります。業界の傾向も確認しながら、今後のビジネスに活用していきましょう。

講座カリキュラム	
1. 財務諸表とは ・財務諸表とは何か ・なぜ財務が必要なのか (財務状況の把握、財務諸表からわかること) ・財務 3 表の構成と役割 (貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書) ・練習問題（実際に取引をイメージしての作成） 実際に手を動かしながら貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書を理解してみましょう 2. 財務 3 表の関係性で分かるビジネスの流れ ・実例から学ぶ財務 3 表の繋がり方 ・実際に財務 3 表を作り、財務 3 表がどうつながっているのかを理解してみましょう ・貸借対照表（資産と負債・純資産のバランス、流動と固定のバランスを見る） ・損益計算書（どのくらいのコストを使い、いくらの上を上げたのか効率性を見る） ・キャッシュフロー計算書 (貸借対照表と損益計算書のつながりを資金の動きから見る)	3. 財務分析とは ・財務分析の目的と情報として得られる経営状態 ・分析項目の確認（収益性、生産性、資金性、安全性、健全性、成長性） ・各項目に対応する指標説明（売上高経常利益率、自己資本比率など 30 項目） ・問題演習で 2 社を比較し、経営状態を理解しよう 4. 実際に分析してみよう ・自社の財務分析と業界平均値からわかること ・起きている問題点の原因を特定する方法 5. 決算書を読み解いてどうビジネスに活かしていくか ・財務分析結果を経営判断に活かす方法 (利益改善の視点、資金繰り改善の視点、投資判断の視点など)